

わくわくらんど環境設定計画(3歳児～6歳児)

		3歳	4歳	5歳～6歳
場所	年齢別 発達 の 主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の基礎が出来る。 「なぜ・どうして」などの質問が盛んになり、物の名称やその機能などを理解しようとする知識欲が強くなり、ますます言語面での発達が進む。 注意力や観察力が伸びて、身の回りの大人の行動や、日常経験していることをごっこ遊びに取り入れて遊ぶなど、想像力を発揮した発展性が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全身のバランスをとる能力が発達し、身体の動きが巧みになる。 好奇心が旺盛になり遊びの中でいろいろなことを発見したり、様々なことを知りたがりたり試したりする。 仲間といふことの喜びや楽しさがお互いに感じられるようになり、仲間意識が強まる。友達と言葉を交わしながら、自由に想像力豊かなごっこ遊びも展開される。 	<ul style="list-style-type: none"> 全身運動がよりなめらかになり、細かい手指の動きが発達してくる。 自分から自主的に行動しようとする力がついてくる。 行動を予測することが可能となったり、物事が判断できようになる。 身近な事象への関心や疑問を持ったりイメージを具現化できるようになる。(文字・数・空間認識・時間などへの興味、関心が深まる。) ごっこ遊びが活発に行われ、組織的に役割をもった遊びが展開するなど、自分たちでルールを作って遊ぶ。 友だちとの関わりの中から刺激を受け、模倣して自分のものとするなど学ぶ力が出てくる。
	ブースの 内容および設定			
ふいーんど 運動と 創造の スペース	全身を使う遊び 土山と芝生の丘・鉄棒・広場 ・ボール・縄跳び・タイヤ他	<ul style="list-style-type: none"> 歩行の機能がさらに発達し、走りたい、登ってみたい、ボールを投げてみたい、などの興味が運動活動への意欲に繋がり、全身運動機能の発達を援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に外で遊ぶようになり、鬼ごっこ、かくれんぼなど簡単なルールのある遊びを友達と楽しんだり、縄跳び、鉄棒など全身を使った遊びに興味をもって取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ドッチボール、かいせんどん、どろけいなどの集団遊びを行ない、友だちとルールを守って遊ぶ。また、身近な環境を利用し自分たちのルールを作って遊びを発展させるなど、社会性を伸ばす。 縄跳び、鉄棒、ボールなどの運動遊具を巧みに使いこなし、全身の運動機能をバランスよく組み合わせて遊ぶ。また、様々なことに挑戦し目標に到達することで、自信と次への意欲に繋げる。
	砂場遊び・どろだんご作り・ごっこ遊び ・砂場遊具・シャベル・雨どい・テーブル・椅子等	<ul style="list-style-type: none"> 砂やどろんこに思いっきり触れて遊び、素材の感触を楽しむ中で、素材の特性を知っていく。また、ごっこ遊びや砂山作りなど、砂や水、泥んこを仲立ちとして友達や保育士とのかかわりを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 砂や水、泥んこの特性を活かし、友達と協力して遊ぶ。さらにトンネル作りや基地作りなど、見通しを持ったストーリー性のある遊びを展開し遊ぶ。また、様々な素材を導入し遊びの内容やレベルをさらに高める。
きっず ふいーむ 自然の 恵みの スペース	野菜の栽培・畑 (サツマイモ・ジャガイモ・枝豆・トマト・きゅうり・ピーマン・なす・ゴーヤ・赤カブ・菜っ葉他)	<ul style="list-style-type: none"> 身近な野菜の成長に興味と関心を持ち、見たり触ったり世話をしたりして親しみ、その特性をよく観察しようとする。 身近で育った野菜を給食で食べることで、食事への期待感や意欲へと繋げていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 野菜の栽培を通して植物の成長を観察し、興味や関心を育てる。同時に収穫の喜びを感じ、自然の恵みの素晴らしさや、環境保全の大切さに気付く。 収穫した野菜をクッキングなど食生活に取り入れ、食事への関心を深める。
こころこ こみち いろいろな 出合いの スペース	四季の自然を感じる季節の花・ハーブ類・ホットスペース(ベンチ・小石の小道・丸太) (チューリップ・スイセン・クロッカス・アサガオ・サルビア・ひまわり・コスモス・すずらん・マリーゴールド・他)	<ul style="list-style-type: none"> 四季折々の花に触れ、花の色、形、匂い、季節の移り変わりをを感じる。変化のある素材でできた小道で遊び、感触の違いを感じる。 		<ul style="list-style-type: none"> 身近な植物に接し世話をすることで、植物の成長過程の不思議さや、構成する部位などに関心を持つ。また、疑問に感じたことを聞いたり、調べたりするなど、行動に移し納得がいくまで関わろうとする。
こころぼ っくり 自然の命と 変化の スペース	摘んで遊べる草花 ・ムラサキツユクサ・オシロイバナ・ハコベ・シロツメクサ・アサガオ・スミレ・オオイヌフグリ・パセリ・シソ	<ul style="list-style-type: none"> 身近に咲いている植物をごっこ遊びなどに取り入れて、さらに遊びの展開ができるようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> 身近な植物の名前を覚え、その植物の特徴から、ごっこ遊びに取り入れたり、花、実、茎など潰したり、刻んだりしながら遊びを展開する。
	触ったり匂いをかいだり、感触を楽しむ草花 ハーブ類・芝生・コットンフラワー・オジギソウ・ホウセンカ他	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの植物の特性に気付き、さまざまな形で、繰り返し本質を確認しようとする機会を設けることで、探究心を育てていく。 植物の名前、色、香り、手触りなど、その植物の特徴を十分に楽しみながら、自然に対する知識力を深める。 		
めだか すいすい らんど 生命の スペース	ミニビオトープ・池 ・水草・メダカ・カブトムシ・スズムシ・ザリガニ ウッドデッキ・竹床・小石	<ul style="list-style-type: none"> 水辺の植物や、生き物、小石などに関心を示し、その状態をよく観察し、さまざまな発見をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 水辺の植物や、生き物に関心を示し、その状態をよく観察して様々な発見をする。また、親しみをもって世話をしたがるなど、思いやりの心が育つ。 生き物の誕生や死を通して、命の大切さに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 水辺の植物や生き物に関心を示し、その状態をよく観察しさまざまな発見をする。また、水辺の植物、生き物、昆虫の飼育、世話を通して、命の大切さ、自然の連鎖に気付く。
	いろいろな試す・実験する 虫眼鏡・カップ・皿・スプーン・しゃもじ・すりこぎ・すり鉢・お玉・図鑑・テーブル	<ul style="list-style-type: none"> 身近で発見した植物や、生き物に関しての疑問や不思議を、保育士や友だちと一緒に図鑑を見たり、試してみたりしながら確認しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近にある植物や、生き物、石、砂、自然事象の不思議、疑問(なぜ? どうして?)と感じたことを図鑑で調べたり、をさまざまな形で探求する。納得するまで考え試し、探求することが、自らの知識力に繋がっていく。 	